

# 【会議録】

会議名	第1回港区立みなと科学館指定管理者候補者選考委員会
開催日時	平成31年2月25日（月）午後3時30分から午後5時まで
開催場所	教育委員会室
委員	出席者 5名 千葉委員長、堀委員、藤井委員、縣委員、山本委員 欠席者 なし
事務局	港区教育委員会 松田教育指導課長、小林主任指導主事、齊藤教育企画担当係長、 教育企画担当 田邊
会議次第	1 開会・挨拶 2 委員委嘱 3 委員紹介 4 委員長選出 5 議題 議題1 公募要項（案）について 議題2 第1次及び第2次審査基準（案）について 6 今後のスケジュール 7 閉会
配付資料	（席上配付資料） 資料1 港区立みなと科学館指定管理者候補者選考委員会設置要綱 資料2 委員名簿 資料3 公募要項（案） 資料4 公募要項様式集 資料5 業務基準書一式 資料6 第一次審査選考基準・採点表（案） 資料7 第二次審査選考基準・採点表（案） 資料8 今後のスケジュール 参考資料1 港区立みなと科学館の概要 参考資料2 位置図・建物概要 参考資料3 港区立みなと科学館条例

## 会議の結果及び主要な発言

	<p>1 開会・挨拶 (開会の挨拶)</p> <p>2 委員委嘱 (事務局より説明)</p> <p>3 委員紹介 (全委員自己紹介)</p> <p>4 委員長選出 (互選により千葉委員を委員長に選任)</p>
委員長	<p>5 議題 議題1 公募要項(案)について、議題2 第1次及び第2次審査基準(案)について</p>
事務局	<p>(配布資料についての説明)</p>
委員1 事務局	<p>業者が自ら企画することも大切だという話だが、時間帯は夜間になるのか。 夜はオフィスの方たちを集客するとか、昼間は学校中心など、夜間に限らず、土日も含めた色々な提案が考えられる。新たな施設なので魅力あるまちづくりということで来る方々もいると思っている。</p>
委員1 事務局	<p>例えば港区内の小中高生対象のコンテンツも企画に入るのか。 コンテンツはプログラムが大体決まっているが、実験室を使うとなればどんな実験を選択肢に入れるか、企画しなければならない。その際にどんな方を職員に迎えるかということも、例えば学校教育に詳しい方をお呼びしないと学習指導要領と違うものになるとか、その点が重要だと考えている。</p>
委員3 事務局	<p>渋谷のハチラボも指定管理者が運営しているのか。 ハチラボは、プラネタリウムとハチラボの所管が違うので、運営事業者が分かれている。指定管理者ではなく、外郭団体に運営を委託していると聞いている。みなと科学館はプラネタリウムや実験室全てを含めて、指定管理者に運営してもらう予定。</p>
委員3 事務局	<p>先ほどの説明ではプラネタリウムの中身は五藤光学にお願いし、運営は別の事業者がやるのか。 運営事業者をこれから公募する。番組作成等もオーダーしてつくっているが、実際それを運営するのはこれから選考する運営事業者になる。</p>
委員3 事務局	<p>五藤光学も公募に参加する可能性があるのか。 可能性はある。渋谷区のハチラボは、学校教育に詳しい方が中心となり、きちんとプログラムが組まれている。今回の科学館は指定管理業者なので、学校の元職員がいるかどうか、今の段階ではわからない。そういった方を雇うと企画提案にあると、それは採点対象となってくる。</p>
委員3 事務局	<p>それは相手の提案に寄るのか。 現在のところ、こちらから条件として特に指定をする予定はない。 資料6に1次審査の選考基準採点表の採点に様式20で学校支援事業に関する運営計画の提案で求める。候補となる事業者には自由に計画を作ってもらい、それに対して各委員に採点してもらう。</p>

委員 4	今どこの科学館でも、来客だけでなく、アウトリーチで、学校や公民館等、地域に行っていて、活動するイメージを持っていたが、そうではなく、科学館内で学校対象にどうメニューを作るかということになるのか。
事務局	アウトリーチを提案することは事業者次第、どのように学校支援する拠点となるかというところを提案してもらえればと考えている。
委員 4	採点する業務対象には含まれていないということか。
事務局	はい。科学館を利用する際にどう学校支援するかということなので、例えば科学館を利用することになれば、事前に学校と連絡して、科学館で行う授業や実験をどういうものにするかを教員と打ち合わせるとか、事前学習テキストを学校へ渡すとか、そういった企画は想定されると思う。その辺をどう考えているかを提案してもらおうということが今の段階でのものになる。 例えば、アウトリーチを科学館の事業として必ずやるべきだということであれば、そういった様式を追加して、採点項目を調整することも可能である。 アウトリーチをやるべきとの議論がこちらで出てくれば、提案対象とできるし、学校支援事業と合体でやるということでも構わない。わかりづらくて書きづらいという指摘があれば、それも修正できる。 学校関係者や知見者がいるとか、何か入れた方がよい項目があれば、項目を作って追加することもできる。例えば、学習指導要領に詳しい方を監修者として依頼して、連携しながらプログラムを作るという提案をしてくる場合もあるし、専門的な理系の大学を出ている方を職員として雇用している場合もある。また、これを機に学校の元職員を雇用する場合もある。どれか絶対でなければいけないと決めるのではなく、どういう提案をしてくるか審査するしかないのかなという思いでいる。
委員 1	先ほどのアウトリーチはいれるべきか。
委員 4	資料5の業務内容4番を見ると、想定はしてないというか、項目は入ってないので、設置者側の考え次第だと思う。他の市や区によっては、その科学館にくるのに距離なり電車の便なりの関係で、そこに出向くことを前提として設置してるようなケースがある。港区の場合は、地下鉄を降りてすぐなので、出ていく必要がないという前提かなと伺った次第である。
事務局	アクセスは比較的良い方だが、一方で官庁街がすぐそばなので、早い時間に子どもたちが地下鉄に乗って来るのはなかなか難しいという面もある。ただ、新しくできる科学館でプラネタリウムホールがあって、気象庁と併設という色々な魅力と強みがあるので、まずは新規の施設に足を運んでもらいたいという思いである。アウトリーチというよりはいかに来てもらうかをずっと考えており、実際に学校等に出向いてほしいという意見があれば、検討の余地はあるのではと考えている。
委員 2	まず来てもらうことが大事というところで、話があったが、まず館内でできることを充実させ、今後、学校や幼稚園のニーズを調査していく必要があると思う。今の段階では、利用率を上げていくことを前提に考えるのはどうか。
委員長	まず本体を充実させるところに集中し、議論進めようと思う。
委員 3	実験器具はかなりのスペースを使うと思うが、ものが増えたり、新しいものを展開したりするときに、バックヤード的な場所はどのように考えているか。
事務局	資料では、実験室全体がオレンジ色になっているが、実はこの後ろ側にバックヤードを用意している。
事務局	また2階プラネタリウムホールは、下3分の1ぐらい全てバックヤードで、他にも

	いろいろな使い方ができる。
委員 3	構想に飽きがあれば展示を入れ替えるとか、予算的なことも含め、どのレベルで考えているかを業者に提案してもらう方がいいのではないか。常設展示について書くところがあるが、イメージを図示か何かしているのか。
事務局	常設展示はトータルメディア開発研究所、プラネタリウムは五藤光学研究所とそれぞれ契約を結んでいて、科学館全体を運営する事業者をこれから選ぶということになる。展示物をどういうペースで更新し、今まで使っていたものをどう保管するのか、聞いてみるのもひとつの手だと思う。
事務局	多目的ロビーに展示パネルが幾つか置けるので、常設展示とあわせてパネル展示を定期的に展開するという発案があればそれは評価していくべきだと考えている。こちらのバックヤードにしまうのか、それとも業者が持ってくるのか、それも提案の一つになる。
委員 3	資料の赤い枠の中だけの話になるのか。
事務局	はい。いろんなどころで持ち回りするようなものを最初から持っている業者はここで展開するというような強みとして出てくる。
事務局	いろんなどころで運営を手がけているところであれば、この科学館のバックヤードに、という考えにはならない可能性もある。
委員 1	企画展示の収入は、この運営事業者がとれるとか、自主事業と企画展示事業とはどのような関連があるのか。
事務局	自主事業は、自分たちの経費で行い、指定管理料としてこちらから支払いする以外の収入になる。あくまで、指定管理事業をしっかりとった上で、プラスアルファで施設を盛り上げるための企画を、自らの経費でやるものになる。自主事業に力を注ぎ過ぎて本来やるべきことがおろそかになる恐れがあるようでは、それは採用できないということになる。
委員 1	自主事業をどの程度盛り込むべきか、ある程度指針がないとよくわからないと思う。自主事業をやらずに企画展示とか基本展示にたっぷり使った方がいいのか。
事務局	常設展示コーナーは、なかなか模様替えができないので、新たな企画を立てるとするのは非常に難しいところになる。プラネタリウムも料金が決まっているので、その範囲となり、それ以上設けることはできない。ただ、実験室の利用についてはこちらで規定をしていない。
委員 1	実験室なら可能なのか。
事務局	メインは実験室になる。実験室で、収入となりそうな企画が、自主事業として成り立つかと思う。ここのバランスをどうとるかが非常に難しいし、業者もそのノウハウがあるかないかでも難しいところだと思う。
委員 5	提案事業というベーシックな部分は、港区の子供たち向けにどのような運営をするかというとても大事な部分だと思うが、それ以外の自主事業は、子供たち対象でなく、地域の方が来てもらうような提案をしても良いのか。できれば継続して一定の来館者数が見込めるよう、実験室に限らずプラネタリウムを使う可能性もあると思う。
	その場合、そのプラネタリウムを使うということに関して、事業者は使用料を区に対して払わなくていいのか。
事務局	はい。指定管理者や区が利用する場合、基本的に条例上は料金を徴収する対象にはなっていない。
委員 1	自主事業だと言って、すでにあるコンテンツを使って、夜だから 3,000 円取るみた

	<p>いなこともあり得えるのか。</p> <p>事務局 基本的に自主事業をやる場合は区と事前に協議をするので、そこは事前に止めることができる。プラネタリウムの特別投影の上限を2,000円と規定しているのので、そこで自主事業として3,000円を徴収する事業をやるとなると混乱をきたしてしまう。</p>
委員1	<p>有名人を呼んで数分話すだけで、コンテンツはほとんどプラネタリウムで、みたいなこともありなのか。</p>
事務局	<p>理論上は可能だが、区と協議のうえ、決定というところが縛りであって、あまりにも逸脱しているようなものであれば、どうかということになる。</p>
委員1	<p>そこは考えて採点する必要があると思う。</p>
事務局	<p>例えばクリスマスやバレンタインなど、少し高額でも払ってくれそうなものを企画する分にはいいが、苦情になりかねないようなものは区としては認めづらい。だけど例えばプラネタリウム2,000円、実験室1,000円のパッケージでやるとなった場合は3,000円でも良いだろうというふうに判断していくのは我々の業務になってくる。そのバランスが難しいと思う。アイデアはあまり潰したくないが、区民におかしいと思われるようなことはやって欲しくないの、そのバランスを取って欲しいという難しさがある。</p>
委員4	<p>実験室は何人座れるのか。</p>
事務局	<p>40人から60人くらいになる。</p>
委員4	<p>今日の資料は、非常によく練られていて、特に大きく違和感など変更しなければならぬという意見はない。確認だが、公募する際どれくらいまで業者にお伝えする予定か。五藤光学研究所が作ったプラネタリウムの番組一覧を持っていないと、何が足りないとかどうすれば面白いとかかわからないし、常設展示物も何があるか分からないと思うが、その辺はどのように情報提供するのか。</p>
事務局	<p>本来であれば現地の見学会を開催したり、これまでの実績を出すのだが、今回全くの新規で工事中の施設のため、そういったことができない。今契約している事業者と協力しながら、資料を提示できるものは出そうと考えている。</p>
委員2	<p>次の審査方法について、プレゼンの時にどういった方に来てもらうとか、その辺のことは今回詰めるのか。</p>
事務局	<p>詳しくは2次審査に進む事業者に通知をする際に、プレゼンについての案内をする。</p>
委員2	<p>案内の前にこの委員会で決めるということでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員5	<p>資料5-2(2)に、一般投影の解説員による生解説とある。これは資料3、5ページの「必ず職員を1名以上充てること」に含むのか。</p>
事務局	<p>プラネタリウム運営職員というのは、必ずしも解説員ということではない。投影する際には、専任の方でなくて構わないが、一定の技量を持った方に解説をつけてもらえるようにとこの仕様書に入れている。</p>
委員5	<p>職員体制の中に組み込んでいないということか。</p>
事務局	<p>はい。</p> <p>例えば幼児向けのプログラム時に子供向けの番組の声優を呼んでくるとか、声の特徴をどのような企画でやるかということも我々は審査したいと考えている。</p>
委員5	<p>実際に解説員がいるところと、いないところだと全然雰囲気違ってくるので、すごく大事なことだと思う。一般投影でも必ず生解説となると、ほぼ毎日常駐すること</p>

事務局	<p>になるし、職員体制のどこかに組み込んでもいいんじゃないかと思うが、どうか。</p> <p>番組によって解説員も変わると思うので、プラネタリウムを投影する時に誰かしらいてくれればいいと考えている。こちらの職員体制のところでは今のところ触れていない。</p>
事務局	<p>何かあっても対応できるようにプラネタリウムの装置を動かせる職員は、必ず1名以上確保したいが、解説員に関しては専属と決めなくても、例えば風邪をひいて休んだ時に他の人がやっても構わないと思っている。</p>
委員 1	<p>施設内は飲食禁止だと思うが、実験の際に、味を感じながらといったコンテンツがあるかもしれないが、この辺はどうか。</p>
事務局	<p>保健所がクリアできれば問題ないと思う。ただ、食べる目的ではなく、実験の結果を確かめる目的の単なる味見は良いと思う。</p>
事務局	<p>庁舎なので基本的に館内は飲食禁止になると思うが、カフェスペース的なテーブルや自動販売機が施設内に入る予定なので、実験室でも柔軟に対応できればと考えている。</p>
委員 3	<p>指定管理5年間の金額は最初に提示するのか。</p>
事務局	<p>金額は提示をしない予定である。というのも指定管理者を決めて、議会の承認をもらった後に、事業者と契約するための予算を要求するので、現在、あらかじめ提示できる予算も枠組みも決まっていない状況である。</p>
委員 3	<p>正規職員以外にも契約職員やパートなど、いろいろな方を含めて人件費が発生するが、光熱費等は港区が払うのか。</p>
事務局	<p>光熱水費も指定管理者が支払うことになる。</p>
委員 3	<p>となると、やはりどのぐらいの枠内で考えているか言わないといけない。我々は良いものに評価するが、その業者が本当にやれるかというのは別問題である。実はできませんとか、想定した金額と違うのでやりませんとトラブルのもとのような気がする。</p>
事務局	<p>提案の際に、指定管理料として年間の見積額を書類の中に入れてもらい、それも含めて採用する。この金額以下で収めてくださいということをこちらから提示するような枠が今決まっていなような状況である。</p>
委員 3	<p>金額はどこに書くのか。</p>
事務局	<p>様式 10 の資金収支計画書に、平成 32 年度から平成 36 年度までの経費を書いてもらう。</p> <p>こちらは別途、公認会計士が事業者の財務状況分析と合わせて資金計画の分析を行う。それを A から E という形で評価する形になるので、今回の選考委員会の評価の一次 200 点、二次 100 点というこの 300 満点の中には入っていない項目になる。</p>
委員 3	<p>審査した結果、資金計画の分析や財務状況で厳しい場合はどこでどういうふうに考慮される仕組みになるのか。</p>
事務局	<p>その部分に関しては2次審査の書類が出された時、6月に予定している会議に公認会計士も場合によって出席し、分析状況の話を聴く機会を設ける。</p>
委員 3	<p>二次審査の場合は点数だけでなく、点数を参考にそういう情報もそろえて総合的に判断をするということか。</p>
事務局	<p>そのとおりである。</p>
委員 5	<p>気象庁との合築の施設というところが一番の売りなので、その部分でもう少し配点を上げるような仕組みが考えられないか。2次審査の①と④が似通っていて同じよう</p>

事務局	<p>な評価になりそうな気がする。例えば③と④の配点を入れ替えるとかちょっとした工夫があると、港区ならではの科学館の運営というところがより高く評価できる。</p> <p>気象庁の本庁舎と一緒になるということと、気象科学館が併設することが、区内の学校の誘致にとどまらず、近隣自治体や全国から来場する強みの一つになるかと思う。そういった意味では2次審査の③と④の配点を逆転することも、了承されれば、そのようにする。</p>
委員 4	<p>色んな科学館を見てきたが、うまくいっている科学館の特徴は、設置者側と指定管理者側のお互いの関係の良し悪しによって決まる。指定管理者を選んだ後の運営体制がもう少しよく見えると、指定管理者側も何までやっていいかとか、区が相談のってくれるかとか、それは極めて大事なことだと思うが、いかがか。</p>
事務局	<p>まだ確定はしていないが、教育センターに教育指導課が入る予定なので、文書の報告だけではなく、どういう事業を行っているか区の職員が常に見ることができる。また、学校での利用の満足度を図っていくと、調査をすとか、そういうことも含めながら事業者と協議をしていく体制をとっていきたいと考えている。</p>
委員 4 事務局	<p>何人ぐらいの職員の方が業務に当たるのか。</p> <p>課長と施設長が直接やりとりをする仕組みとなる。しかし課長がすべて見れるわけではないので、指導主事という学校の元教員が、月に何回か様子を観察するという体制かと思っている。</p>
委員 4 事務局	<p>基本的には学校教育がメインの仕事としての位置付けか。</p> <p>それだけでなく、どういう世代の子たちが来ているのかとか、その時ふさわしいような安全管理がなされているのか等、報告書では見えない部分があるので、直接見て確認をする。</p>
委員 4	<p>5年間ほっとくのではなく、定期的に評価をして、自己点検をさせて、外部の評価委員なりを作って回さないで、指定管理者だけでは動かない。</p> <p>また、港区の特徴として外国人や日本語が読めない方もたくさん来る。多言語対応を評価項目に入れておくと、業者側がちゃんと構えてくれるので、必要であれば項目に入れた方が自然かなと思う。</p>
事務局	<p>プラネタリウムは2ヶ国語対応で補聴器補助システムをつけるという形で契約に入っている。ただ、それに加えて、例えばこの時間は英語での生解説が聞けるといった提案は存分にあり得るので、様式も含めて調整する。</p>
委員 4	<p>そこは対応しておくで港区の評価が上がると思う。</p>
委員 3	<p>学校向けのイメージはだいたいつくが、一般向けの科学講座やサイエンスショー等の各種イベントがどういう規模で考えているか興味がある。大使館も多いし、インターナショナルスクールの子たちもいる。一般向け講座と学校の間ぐらいの人たち、或いはその保護者なども視野に入れるといいのではないか。事業運営の④から⑧までの規模やイメージをどのくらい持ってくるのか見どころかと思う。</p>
事務局	<p>展示の解説等は二言語の対応になる。二言語以上になると、こちらの想定としてはパンフレット等を韓国語と中国語も含めて準備する予定である。建物の主だったところのサイン表示は4ヶ国語で対応する仕様だが、運営部分でどこまで求めていくか、また、どういう提案をもらうかとかいう部分に関しては、もう一度こちらで整理して、項目として可能であれば追加したいと思う。</p>
委員 3 事務局	<p>修学旅行の学生や、そういう子たちの実験教室とかもありか。</p> <p>事前に申し込みできる優先順位があり、区内の学校と被らなければ団体利用できる</p>

<p>委員 3 事務局</p>	<p>ように計画をしている。 利用料の減免制度などあるのか。 例えばプラネタリウムホールの貸切は1コマにつき5万8,000円かかるところ、区内の学校であれば無料で、区外の学校であれば半額でと考えている。プラネタリウム以外の施設は無料となる。</p>
<p>委員 3 事務局</p>	<p>そういう情報も指定管理事業者に提示されるか。 説明会の中で細かく触れていくことになる。例えば港区にはインターナショナルスクールが幾つかあるということで、英語でサイエンスショーを定期的にやるという企画をしてきたら、その方達は港区向けに営業してくれているということで、それも評価対象として考える。あえてやってねと言うのも一つの手だと思うが、そこは説明会のときに、港区の特色として触れていくことも考えていきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご指摘いただいた指定管理者と区側との連携ということで、公募要項の25ページにモニタリングの実施ということで、毎月業務実績報告をしてもらう。また、指定管理期間中の第三者評価の実施ということで、一定のチェック機能がある。また、4階に教育センターが入り、ここが科学館の所管課となるので、連携はとりやすい施設になろうかなと考えている。</p>
<p>委員長</p>	<p>ほか、意見がなければ、本日の審議での意見をもとに公募要項、第一次、第二次審査表を修正する。最終的な文言の調整については、委員長に一任ということでよいか。</p>
<p>一同 委員長</p>	<p>異議なし 本日の意見を踏まえ事務局には公募開始について作業を進めて欲しい。</p>
<p>委員長</p>	<p>6 今後のスケジュール (事務局より説明) 7 閉会 第1回港区立みなと科学館指定管理者候補者選考委員会を終了する。</p>



# 【会議録】

会 議 名	第2回港区立みなと科学館指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和元年6月6日（木）午後3時30分から午後5時00分まで
開 催 場 所	教育委員会室
委 員 員	出席者 5名 千葉委員長、堀委員、藤井委員、縣委員、山本委員 欠席者 なし
事 務 局	港区教育委員会事務局学校教育部 松田教育指導課長、小林主任指導主事、指導支援係齊藤副係長、 指導支援係野口
その他	平山公認会計士
会 議 次 第	1 開会 2 議題 議題1 財務状況等分析結果について 議題2 第一次審査集計結果について 議題3 第一次審査通過事業者の決定について 議題4 第二次審査基準について 3 今後のスケジュール 4 閉会
配 付 資 料	(席上配付資料)  資料1 財務状況調査・分析報告書 資料2 資金計画調査・分析報告書 資料3 第一次審査集計表 資料4 第二次審査選考基準・採点表(案) 資料5-1 第二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)の方法について 資料5-2 第二次審査の実施に関する留意事項 資料6 第1回港区立みなと科学館指定管理者候補者選考委員会会議録

会議の結果及び主要な発言

委員長	1 開会 (委員長 開会の挨拶)
委員長	2 議題 議題1 財務状況等分析結果について
公認会計士	平山公認会計士が報告書に基づき報告 財務状況分析(総合評価) A事業者: A-1社(可)、A-2社(可) 資金計画分析(総合評価) A事業者:A
委員長	何か意見、質問等はあるか。
委員2	基本的には問題ない事業者ということが見て取れる。財務状況分析の総資産回転率の項目が2点、手元流動性比率が2点や1点と低い評価となっているが、問題はないのか。
公認会計士	流動性比率が高いが、事業規模としては小さい企業や事業規模は大きい利益が低い事業者もある、全ての観点で高い評価となる事業者というのは難しいので、そのために複数の観点を設定して、総合的な判断をしている。総資産回転率や手元流動性比率が確かに他と比べて少し弱みではあるかもしれないが、全体としては問題ない事業者と判断した。
委員長	財務状況分析、資金計画分析の報告については以上でよいか。 全委員了承 平山公認会計士退室
委員長 事務局	議題2 第一次審査集計結果について 事務局から審査票集計結果を報告。 A事業者:753点。
委員長 委員3	採点の結果について、各委員から講評をいただきたい。 今回応募が1社だったが、資料から実績も十分で出張展望会、学習支援など学校に対する事業も具体的で全体としては合格点を与えられる。気になった点は、苦情があったときの具体策。また、ボランティアの募集について、確保の方法や質をどう担保するのか。それから、教員に対する支援方法については、教員の時間がない中で科学館に来て研修をするという方法はかなり工夫しないと実現できないのではないかとと思われる。
委員4	全体としてはほとんど合格点で、事業者が不適切だとはまったく思わない。その中でも気になった点としては、職員の確保や育成に対する考えと、開館準備の具体的な計画及び職員体制。気象庁との連携に対する考え方。それから、安全対策危機管理について、必要なことは書いてあるが一般的であった。
委員2	多くの施設を手掛けていて実績があり、その経験を踏まえて星空ヨガなど具体的な提案がされていた。また、英語でのプラネタリウムの投影など港区らしい提案もあったので、全体的により良い提案だったと思う。ただその中で難を言えば、安全対策とか危機管理の面についての記述が一般的な記述になっている。それから職員体制、勤

委員 5	<p>務体制についても、若干人が多いように見受けられた。障害者の雇用についても具体的な内容が乏しかったが、いずれにしても全体的にはよくできた提案だった。</p> <p>各項目とも具体的な記述が多かったので、全体的に良い評価となった。その中で気になった点としては、年間目標利用者数の設定について、事業の提案内容良かったので、もう少し目標数を高くしてもよかったのではないかと思った。気象庁と同じ建物にある日本で唯一の科学館だと思うので、それを生かして数年後でも多くの人に来てもらえるような施設になればいい。</p>
委員 1	<p>インタープリターという言葉を使っているが、どういう人がインタープリターになるかがわからなかった。事業者との連携についてどこまで実現可能なのかは聴いてみたいとわからない。年間目標来館者についても教育機関の来館者数と一般来館者数を分けて予測してもらいたかった。また、気象庁に対する働きかけがあってもいいと思った。</p>
委員長	<p>その他、採点内容等について意見・質問はないか。</p> <p>各委員から意見を伺った。これを受けて、点数を修正されたい委員は事務局に報告願う。</p> <p>(修正あり)</p>
事務局	<p>再集計し、集計結果を報告。</p> <p>A事業者：754点</p>
委員長	<p>第一次審査集計結果については確定とする。</p>
委員長	<p>議題3 第一次審査通過事業者の決定について</p> <p>応募事業者財務状況分析等及び第一次審査集計結果に基づき、第一次審査通過者を「A事業者」としたいと思うがいかがか。</p> <p>全委員了承</p>
委員長	<p>それでは、A事業者について第一次審査通過とする。</p> <p>議題4 第二次審査基準について</p>
事務局	<p>事務局から説明</p>
委員 2	<p>事業者には今日の審議で意見が出たことを予め事業者に伝え、基本的にこれを中心にして話すようにと示せるものがあった方がいいのではないか。</p>
委員 3	<p>書類については一通り読んでいるから、書いてあることを聴くよりもこちらが聴きたいことが聴ければいい。</p>
委員 4	<p>聴きたいことは事前に伝えたほうが実のある議論になる。安全対策危機管理についても聴きたい。SDGsの取組についてみなと科学館もそういった趣旨を入れる必要があるなら何に対応するのか押さえておく必要がある。</p>
委員長	<p>第二次審査については、審査ポイントや本日出た意見を予め事業者に通知し、それを踏まえての提案を受けるということでよいか。</p> <p>全委員了承</p>
委員長	<p>3 今後のスケジュール</p>
事務局	<p>事務局より説明</p>
委員長	<p>4 閉会</p> <p>第2回港区立みなと科学館指定管理者候補者選考委員会を閉会する。</p>

# 【会議録】

会 議 名	第3回港区立みなと科学館指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和元年7月12日（金）午前10時から11時40分まで
開 催 場 所	区役所9階911会議室
委 員 員	出席者 5名 千葉委員長、堀委員、藤井委員、縣委員、山本委員 欠席者 なし
事 務 局	港区教育委員会事務局学校教育部 松田教育指導課長、小林主任指導主事、指導支援係齊藤副係長、 指導支援係野口
会 議 次 第	1 開会 2 議題 議題1 第二次審査の実施について 議題2 第二次審査採点表集計結果について 議題3 港区立みなと科学館指定管理者候補者の決定について 議題4 その他 3 閉会
配 付 資 料	（席上配付資料） 資料1 第二次審査採点表 資料2 第一次審査結果表集計表 資料3 第一次・第二次審査集計表（集計後配布） 資料4 第2回港区立みなと科学館指定管理者候補者選考委員会会議録
会議の結果及び主要な発言	
委員長	1 開会 （委員長 開会の挨拶）
委員長	2 議題 議題1 第二次審査の実施について
事務局	・事務局からスケジュールを説明
A事業者	A事業者 ・プレゼンテーション（20分） ・質疑応答（30分程度）
委員2	館長と施設長の役割について説明して欲しい。
A事業者	グローバルな視点で科学館の方針を決めてもらうため、館長に対外的に研究機関、民間企業等と連携や外部有識者との意見交換に力を発揮していただきたいと考えて

<p>委員2 A事業者</p>	<p>いる。それとは別に科学館の日常業務の運営については施設長の役割とし、館の運営のコントロールに当たるといのが、考えている2トップの考え方になる。</p> <p>インタプリターについては、職員体制のどこにあたるのか。</p> <p>インタプリターは教育普及のチームに配属を予定している。さらに、より魅力ある運営を行うために、地域と連携を行う広報連携のチームにも配置ができればと考えている。</p>
<p>委員2 A事業者</p>	<p>サイエンスナビシステムは狭隘な科学館のどこに置くのか、また、科学館の規模に合うのか。</p> <p>サイエンスナビシステムは、科学の情報をより深く調べたいという来館者の要望に対して、科学番組や情報誌を連想検索という技術を使い、自分が見たい情報に限りなく近いものが、紐づけられる仕組みである。展示室の中に置くのは厳しいかもしれないので、場合によってはロビーなど他の場所を検討したい。大きめのモニターを設置して、1人当たり時間を制限するなど、多くの人に対応できるように配慮はしたい。</p>
<p>委員1 A事業者</p>	<p>インタプリターについて詳しく説明をして欲しい。</p> <p>インタプリターは、常設展示物の展示解説を行うコミュニケーターになる。インタプリターは来館する全ての人に対し、その人に合わせて科学の面白さを伝えていくことを目的としている。また、学校団体の来館時の講座や実験で学びのサポートも行う。基本的に教育普及チームがインタプリターの役割を担う予定。理想としては、インタプリターだけでなく、科学館に関わる職員全員が色々な形で、利用者の学びをアシストできればいい。</p>
<p>委員5 A事業者</p>	<p>インタプリターは資格や経歴が必要なのか。また、指定管理期間を考えて任期としては5年になる。それで十分なその能力を担保できるのか。</p> <p>インタプリターとなる人材の確保は、私どもの運営している館からの人選を考えている。できれば、大学等でサイエンスコミュニケーションに関する講座を履修している人材、それから理科系の学芸員の資格を持っている人材を考えている。ただ、そういった資格だけではインタプリターの役割としては不十分なので、採用後、職員のスキルアップに繋がる研修を行っていききたい。</p>
<p>委員5 A事業者</p>	<p>プラネタリウムのオリジナル番組は無料提供となるのか。</p> <p>基本的には無料。ただし楽曲や一部の著作権について別途費用がかかるものもある。</p>
<p>委員5 A事業者</p>	<p>学校支援事業に関して、なぜ1日当たり最大3学級までなのか。港区の場合1学年で最大7クラスある学校もある。そういった学校の受け入れをどう考えるのか。</p> <p>プラネタリウムの席数に考えると1回当たり受け入れ可能なクラス数が最大3クラスまでになる。7クラスの場合、3回転投影を行わなければならないので、昼食場所の確保などが課題になる。午前中の時間で学習を終え、昼までに戻りたいという学校の要望もあるかと思うが、同施設の教育センターと相談し、学校の負担とならないよう進めていくことができればと思っている。</p>
<p>委員5 A事業者</p>	<p>マス媒体への売り込みをどのように行うのか。またSNSでどのくらいフォロワーを獲得できる見込みなのか。</p> <p>費用対効果を考えて特に来館が想定されるエリアに新聞広告を載せたいと考えている。みなと科学館オープンだけでなく、開業に関連するイベント等の内容も一緒に掲示するのが、効果が高いと考えている。SNSのフォロワー数の見込みは、現段階での検証はできていない。科学館に一度来場した人が、さらに興味関心を持ち、また</p>

<p>委員 5</p> <p>A事業者</p>	<p>利用したいと思える内容をSNSに上げていきたい。見込数については指定管理者として決まれば具体的な内容も含めて回答したい。</p> <p>目標来館者数が非常に少なく感じる。課題があるとすればどういったものがあるのか。</p>
<p>委員 4</p> <p>A事業者</p>	<p>プラネタリウムの利用者数、それから常設展の利用者数をそれぞれ計算、合算し利用、年間約10万8,000人から12万人の利用者数を算出している。算出については、全国の同様の科学館の統計データを使っている。算出に一番影響があるのは、展示室の面積、周辺の子どもの人口である。今回の施設の場合、そういったことで不本意ながら少し低いデータとして提示となっている。ただし、今回の算出では気象科学館利用者の人数は含まれていない。気象科学館が年間2万人程度の来場があると聞いているので、相互利用を想定すると2万人程度の利用者が追加となると思われる。</p>
<p>委員 4</p> <p>A事業者</p>	<p>今年10月の区民まつりでのイベントについて、時期がかなり迫っているが職員体制をどう組む予定なのか。</p> <p>10月早々では、来年4月から働く職員が雇用されていない可能性があるため、本社の職員が対応する予定である。まずは、科学館のチラシを作ってPRしていくことが重要。区民まつりは集客力のあるイベントであり、そこで科学館のPRを効果的に行うのが一番良いと思っている。</p>
<p>委員 4</p> <p>A事業者</p>	<p>自己点検や外部評価をどのように設置者に対して反映をさせていくのか。</p> <p>指定管理なので、計画した内容に対して、何を何回実施してどれだけの利用者数があったというのは、数字的な報告ということで目標を立てている部分に対して達成したかという話があると思う。一方で、利用した人たちの満足度をどうやって抽出するか。個々のプログラムや講座に関しては、アンケート調査を実施する予定である。常設展やプラネタリウム利用者については、年間1回か2回アンケート調査を行い、利用者の満足度をはかっていきたい。</p>
<p>委員 4</p> <p>A事業者</p>	<p>科学館は気象庁と一緒に設置されているので、例えば大災害が起こったときに、多くの人がこの施設に情報や支援を求めて来ると思う。気象庁とは、どういう仕組みを作り、地域という点と情報の提供で連携していくのか。</p> <p>気象庁に対して来館者は、防災知識に対して有益な情報を得たいというニーズがあるというふうに考えている。サイエンスカフェで気象予報士会に入ってもらい、自然の見方を教えるカフェを設けたり、気象科学館の展示に関しても、大雨や地震の動きを再現する展示物があるので、それを第1に見てもらいたい。基本的には気象庁連携して科学館を利用する方に気象庁のよさを体験してもらいたい。また、災害発生時には、気象庁は災害の情報発信する立場で手一杯になるので、対応はしきれない。科学館の立場で問い合わせがあった場合は、気象庁から発信された後の情報をどのように提供するかということになると思う。間違った情報は提供しないことを大原則として、確認できる情報を正確に伝えるべきである。東日本大震災時に運営していた施設が避難指定ではなかったが、多くの帰宅困難者が発生し、その施設に人が押し寄せたという事例があった。施設内の防災担当者や責任判断をできる者が、集まり、何ができるのか議論し対応したが、安全な場所の確保と提供をした経験がある。災害は起こって欲しくはないが起きた場合は、それに近い対応をする必要があると考えている。また、今回の体制としては、構成団体が科学館施設の入る建物のPFI事業者で維持管理担当として建物をサポートする立場にあり、災害時の事前準備体制を構築していくことが可能と考えている。</p>

委員 3	科学館全体のコーディネートについてどう連携を組んでいくのか。館長が具体的なコーディネートやプロデュースまでできるわけではないと思うので、誰がどう取り組んでいくのか。
A事業者	館長1人に全部任せることはできないと思う。基本的には本社のチームがバックアップやフォローを考えている。
委員 1	これまで施設運営を行ってきた中で、課題を3点程あげて欲しい。
A事業者	運営をする中で、大きな施設の思いとして、こうありたい、施設をこうしたいという目標を立てる。これをスタッフにどれだけ浸透させて、一つのチームとしてやっていくのかということに、時間と手間がかかり、やり切れれば素晴らしいチームができるが、時間が顔を合わせる時間が足りなかったりすると、多少の温度差が出てくる。全てを100%にすることは難しいが、その中でも、絶対外せないところをどうやって職員で共有していくのかが、今までやってきて一番課題である。2点目は、安全の部分。ベテラン職であっても、手をけがしたり、そういったことが起きる可能性がある。使い慣れた機器を扱っていたとしても、油断があると危機につながる。安全については尽きることのない課題である。3点目は、指定管理の施設は5年、10年を見越して、人を育てていく必要がある。科学館で経験したことでのどのように人が変わっていくのか、それをどこまで追えるのか。単に学力上がったとかいう話でもないので、その人の持っている力や新しい力の目覚め、何が変わったのかといったところを、長期的に見ていく、それを1事業者が5年間でどこまでできるのかといったことに関しては、課題はあると思う。長い目線で見ることができれば挑戦していきたい。
委員 1	館長と施設長はどちらが最終的な責任をもつのか。
A事業者	現場の管理に関しては施設長が常勤で勤めるので、その範囲で責任を取るというふうに考えている。館長の役割については、館の大きな方向性と連携先の顔をつなぐこと。最終的に連携や大きなビジョンの確認は、本社で判断し、責任を持って対応していきたい。
事務局 委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次審査票の集計</li> <li>議題2 第二次審査採点表集計結果について</li> <li>事務局から審査票集計結果を報告。</li> <li>・第二次審査集計結果</li> <li>A事業者：376点</li> <li>・第一次・第二次合計集計結果</li> <li>A事業者：1,130点</li> </ul>
委員長 委員 3	採点の結果について、各委員から講評をいただきたい。 組織として取り組んでいく姿勢が見受けられた。開設までの期間がタイトなので、これからどれだけの人的確保が可能かというところが相当な努力が必要なのかなということを感じた。気象庁や地域団体・企業との連携については、企画展や、サイエンスショー、絵画作品展、発明作品展など様々な工夫が見られたので、さらに粘り強く進めて欲しい。全体的に見て、それぞれの部門から何とか実現に向けようという意欲が感じられた。
委員 4	科学館には企業や大学等の連携先を拡大しながら連携先同士が交流できるようハブとなって欲しい。科学館という箱物だけでなく、様々な主体が連携し、それぞれの

	<p>自主的な活動をうまく連動させていくような大きな試みも描かれているので、科学館がコアとなり、いい人材を投入してうまく進められるように努力してしてほしい。</p> <p>区が求める危機管理の水準は満たしているが、首都直下型とか大災害が起こった場合、地域で混乱が予想される。気象庁の隣にただいますでは済まないで、具体的にシミュレーションし、どうサポートするのか仕組み作りをしっかりとしないといけない。</p>
委員 2	<p>プレゼンの中で担当者が責任ある発言、積極的にやっていくという意思が見て取れた。実績も安定感もあり、十分任せられる事業者だと思う。今後指定管理者とよく話し合い、相語がないように運営してもらいたい。</p>
委員 5	<p>施設運営の考え方について、常設展示物を定期的に更新するなど利用者満足を高めるための具体的な提案が見られた。また、真摯に取り組む姿勢と意欲についても全体的に感じられた。気象庁や様々な企業との連携についても良い提案になっていた。</p>
委員 1	<p>プレゼンテーション内容、質疑への対応を踏まえ、全面的に合格点。インタープリターが本当にクオリティの高い人が雇用できるかどうかということがか心配、クオリティの高い人でなければ、学校の先生方の研修は難しく、今後事業者を指導していく必要がある。</p>
委員長	<p>議題 3 港区立みなと科学館指定管理者候補者の決定について</p> <p>事業者 A を港区立みなと科学館指定管理者候補者に決定することでよいか。</p> <p>全委員了承</p> <p>港区立みなと科学館指定管理者候補者は、A 事業者とする。</p>
事務局	<p>事務局から今後のスケジュールについて説明</p>
委員長	<p>3 閉会</p> <p>第 3 回港区立みなと科学館指定管理者候補者選考委員会を閉会する。</p>